



案内人がおすすめする

グルメスポット

ニシン漁により栄えてきた祝津地区では、祝津漁港に水揚げされた新鮮な海産物が食べられます。この地区の食事処を御紹介します。

MAP



マリーナ食堂

石狩湾とヨットをバックに食事ができます。海産物中心でメニューも豊富です。

住所 祝津3-197 ☎ 0134-32-0425
営業時間 9:00-17:00(3月末-11月上旬)
休 不定休(11月3日-3月末まで休業)

MAP



民宿 青塚食堂

ニシン料理のほか、旬の海産物がお手頃価格で食べられます。

住所 祝津3-210 ☎ 0134-22-8034
営業時間 10:00-19:00(L.O.18:00)
休 不定休

MAP



レストラン・ブラウキュステ

ホテルノイシュロス小樽内のレストラン。近隣食材使用の創作フレンチが好評です。

住所 祝津3-282 ☎ 0134-22-9111
営業時間 [ランチ]12:00、12:30、13:00の3部制(14:30クローズ)
[ディナー]17:00-22:00(最終入店20:30)
休 12月-3月末 (ランチのみ休み) 状況により変更する場合があります

MAP



和風レストラン 花かずら

小樽貴賓館内のレストラン。にしんお重やにしんそば、喫茶等で楽しめます。

住所 祝津3-63 ☎ 0134-24-0024
営業時間 [4月-10月]11:00-17:00(L.O.14:30)
[11月-3月]11:00-16:00(L.O.14:30)
休 年末年始(12月26日-1月7日)

【マーク解説】 住所 ☎電話番号 ☑営業時間 休 定休日

このコースの案内人



「おたる案内人」マイスター 森田さん

ヒッチコックも真っ青。青い海が白くなる?お化けが風に出る?...ニシンが放出する白子で海が白くなる「群来(くき)」や「高島おぼけ」と呼ばれるしんきろうなど、祝津は不思議な現象が見られることもある地区なんですよ。



「おたる案内人」マイスター 森下さん

観光船で、小樽の港、赤岩、オタモイ海岸を海上散歩できるコースです。石狩湾を一望できる祝津では、ニシンを追ってきた人々の息づかいが、今も生きていませんか?

小樽を応援!

ふるさと納税のご案内

小樽市
ふるさと納税サイト



小樽市産業港湾部観光振興室

〒047-0007 北海道小樽市港町4番3号 TEL.0134-32-4111 (内線7450) FAX.0134-27-8600
[E-mail] kanko@city.otaru.lg.jp [URL] https://www.city.otaru.lg.jp/

※案内人のイラスト: 中村小百合 ※作成日: 平成21年5月 改訂: 令和8年3月

おたる

案内人
小樽観光大学校



おたる案内人が
おすすめする
小樽散策コース

ぐるっと祝津・ニシンと絶景コース

祝津は、ニシン漁で栄えた漁村集落の面影を今も残す地区です。海岸沿いには、にしん漁家の住宅や番屋、石造りの倉庫などが当時のままの姿で現存し、丘には、文久3(1863)年に創立した恵美須神社があります。また、透明度が高く美しい海と海岸線の断崖絶壁は、ニセコ積丹小樽海岸国定公園に指定されており、祝津パノラマ展望台からは、小樽市鯉御殿と日和山灯台がある高島岬の絶景が眼下に広がります。さらに、時間によっては、海上で船が交差する光景も見られます。絶景とおいしい海産物を堪能しながら、ニシン漁で栄えたまちの歴史散歩をお楽しみください。

祝津コース起点までのアクセス

MAP① 観光船のりば

本コースは第3号ふ頭の基部にある小樽港観光船ターミナルから、観光船「あおぼと」の祝津航路に乗船してスタートします。

住所 港町4-1 ☎ 0134-29-3131
営業時間 10:00~17:00(曜日や季節により異なる場合があります。)
運航期間は、4月下旬~10月中旬です。
休 冬期間、荒天時運休

- 最寄りのスポット: 小樽運河(中央橋)、小樽国際インフォメーションセンター、運河クルーズ
- 料金: 祝津航路(片道20分) 大人1,100円、小人550円
ほかにも、オタモイの断崖絶壁を海から楽しめるオタモイ航路があります。(乗船・下船場所により時間、料金が異なる4コース)

☆アクセス

JR小樽駅から、まっすぐ海に向かって歩いて約15分。のりば付近には、観光駐車場(有料)もあります。



スポット解説

MAP ① 観光船のりば (☎0134-29-3131)

小樽駅から中央通りを海へ真っ直ぐ下った第3号ふ頭基部に、乗り場があります。船の運航期間は、4月下旬-10月中旬。運賃は大人1,100円〜で、航路により異なります。

↓ 船で約20分

MAP ② 祝津漁港

古き漁村集落の面影を残す、風情のある漁港です。かつては、ニシンの千石場所と呼ばれました。現在は、ホタテ、ウニ、アワビ、カレイなどが主に水揚げされます。

↓ 徒歩10分

MAP ③ 小樽市鯨御殿 (☎0134-22-1038)

積丹半島有数の親方、田中福松の番屋。ニシン漁について学べます。開館期間は4月上旬-11月下旬、入館料は大人300円、高校生と市内在住の70歳以上の方150円、中学生以下無料です。

↓ 徒歩2分

MAP ④ 日和山灯台 (ひよりやまとうだい)

明治16年に白色の木造六角形の灯台として建設され、昭和28年に今の姿に改築されました。昭和32年公開の映画「喜びも悲しみも幾歳月」の最終場面のロケ地でもあります。

↓ 徒歩8分

MAP ⑤ おたる水族館 (☎0134-33-1400)

人気の動物たちのパフォーマンスを毎日開催！イベントも盛りだくさんで1年中楽しい水族館。午前9時(冬期10時)開館。大人1,800円(冬期1,300円)、小中700円(冬期500円)

↓ 徒歩7分

MAP ⑥ 祝津パノラマ展望台

目の前には一面に日本海が広がり、水平線が丸く見えます。朝日・夕日の名所としても有名です。ニシンの大漁を歌った江差追分銘歌碑、北浜節民謡碑もあります。

↓ 徒歩15分

MAP ⑦ 小樽貴賓館 (☎0134-24-0024)

ニシン漁で巨万の富を築いた、祝津三大漁家の一つである青山家が正12年に建築(旧青山別邸)。営業時間は9:00-17:00(11-3月は16:00まで)、入館料は大人1,300円、小学生650円です。

↓ 徒歩7分

MAP ⑧ バス停・貴賓館入口

小樽駅前に向かうバス路線は、10番と11番。運行時間は、中央バスのホームページをご確認ください。

日本遺産について
小樽市では、以下のストーリーが認定されています。

日本遺産
荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間〜北前船寄港地・船主集落〜(平成30年追加認定)
地図上では◆で表示しています。

炭鉄港
本邦国策を北海道に観よ！〜北の産業革命「炭鉄港」〜(令和元年認定)

北海道の「心臓」と呼ばれたまち・小樽
〜「民の力」で創られ蘇った北の商都〜(令和7年認定)

祝津漁港
祝津漁港は、かつてはニシンの千石場所と呼ばれました。現在は、ホタテ、ウニ、アワビ、カレイなどが主に水揚げされます。

おたる水族館
人気の動物たちのパフォーマンスを毎日開催！イベントも盛りだくさんで1年中楽しい水族館。午前9時(冬期10時)開館。大人1,800円(冬期1,300円)、小中700円(冬期500円)

日和山灯台
明治16年に白色の木造六角形の灯台として建設され、昭和28年に今の姿に改築されました。昭和32年公開の映画「喜びも悲しみも幾歳月」の最終場面のロケ地でもあります。

小樽市鯨御殿
積丹半島有数の親方、田中福松の番屋。ニシン漁について学べます。開館期間は4月上旬-11月下旬、入館料は大人300円、高校生と市内在住の70歳以上の方150円、中学生以下無料です。

祝津パノラマ展望台
目の前には一面に日本海が広がり、水平線が丸く見えます。朝日・夕日の名所としても有名です。ニシンの大漁を歌った江差追分銘歌碑、北浜節民謡碑もあります。

小樽貴賓館 (にしん御殿「旧青山別邸」・国登録有形文化財)
ニシン漁で巨万の富を築いた、祝津三大漁家の一つである青山家が正12年に建築(旧青山別邸)。営業時間は9:00-17:00(11-3月は16:00まで)、入館料は大人1,300円、小学生650円です。

バス停 貴賓館入口

旧白鳥家番屋
令和元年11月には昭和61年以來の33年ぶりの大掛かりな改修が行われ、リニューアルしました。

恵美須神社
恵美須神社本殿は文久3(1863)年に創立した、小樽市に古くからある神社建築物。境内には小樽市指定の保存樹木の桑とイチイがあります。

祝津パノラマ展望台
展望台から少し上ったホテルノイシュロス小樽近辺からの景観も抜群。ホテルでは日帰り入浴もできます。

小樽貴賓館 (にしん御殿「旧青山別邸」・国登録有形文化財)
ニシン漁最盛期に初代與八郎により建築。一般公開は、4月下旬-10月中旬までの金・土・日・祝(ゴールデンウィーク、7月下旬-8月下旬は毎日開館)午前11時-午後3時30分です。(入館料200円) 問合せ先:0134-26-6160

石狩挽歌記念碑
小樽貴賓館の庭園内には、ニシン漁の様子を歌った「石狩挽歌」の記念碑があります。

オプションルート。
気分に応じて選んでください。

海上観光船祝津航路
第1便は午前10時から運航。運航状況は、曜日や天候によって変わります。

中央バス(路線10番)
海岸線を走る路線10番のバスは、帰路も海辺の風景を眺められるのでオススメです。

高島漁港の朝焼け。現在、高島は高島漁港周辺の地域を指しますが、昔は、堺町の西端にある妙見川から祝津までの一帯が「高島郡」でした。

オタモイ海岸 観光船あおぼと
天候に恵まれたなら、海上観光船オタモイ航路をおすすめします。海から眺める高島岬、連なる断崖絶壁、窓のように穴が開いた奇岩「窓岩」など、見どころいっぱいですよ。

ぐるっと祝津・ニシンと絶景コース

